



景観計画重点区域4

小田原大井線沿道地区の色彩

建築物の屋根・外壁、工作物等の色彩

制限の考え方

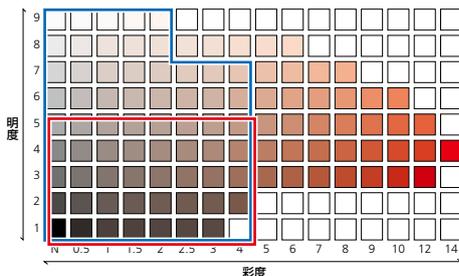
周辺の酒匂川や田園などの自然環境に配慮した良好な通り景観を形成するために、建築物の外壁や工作物の色彩は、明度や彩度を抑え、周辺に融和するような色彩の景観形成を図ります。また、建築物の屋根の色彩は、背景の山並みの緑と融和した景観を形成するため低彩度かつ低明度の域に誘導を図ります。

*1 建築物・工作物の見付面積の1/5未満の範囲内で用いる色彩については制限がありません。ただし、工業専用地域内では、地盤面からの高さ10m以下の部分とし、その他の地域では地盤面からの高さ5m以下の部分に限ります。

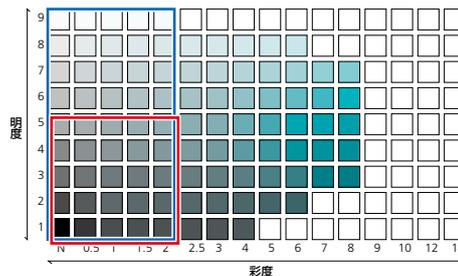
対象部位	色相	明度	彩度
建築物の外壁・工作物	0.1R~5Y	7.5以上の場合	2以下とする
	その他	7.5未満の場合	4以下とする
建築物の屋根	0.1R~5Y	5以下とする	4以下とする
	その他	5以下とする	2以下とする
自動販売機*2	5Y	7.5	1.5

*2 ただし、木製の囲いなどにより周囲と調和するように修景を行った場合はこの限りではありません。

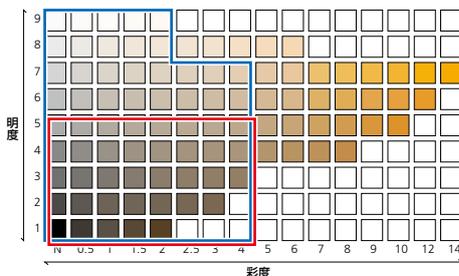
R(赤)系の色相



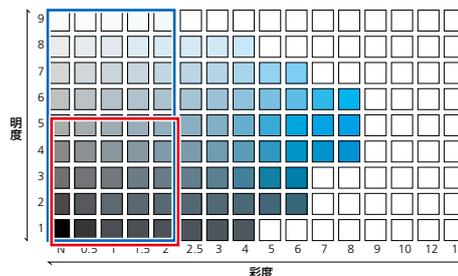
BG(青緑)系の色相



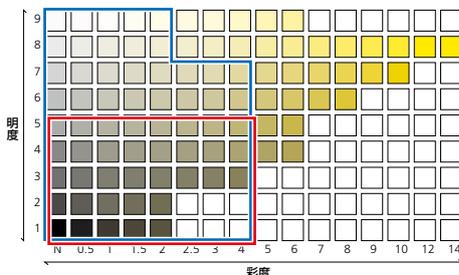
YR(黄赤)系の色相



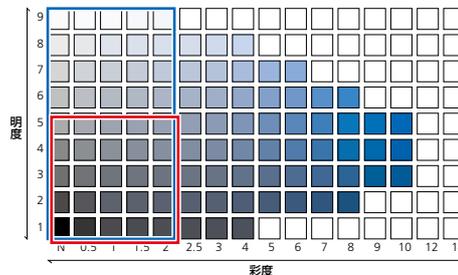
B(青)系の色相



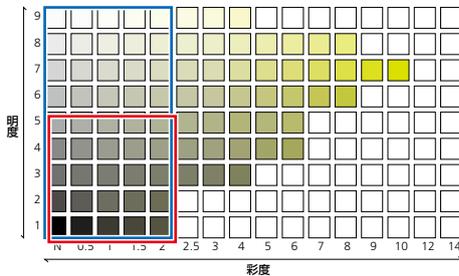
0.1Y~5Y(黄)系の色相



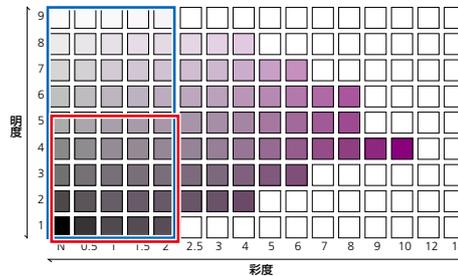
PB(青紫)系の色相



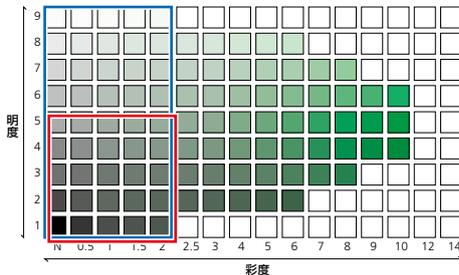
5.1Y~10Y(黄)系・GY(黄緑)系の色相



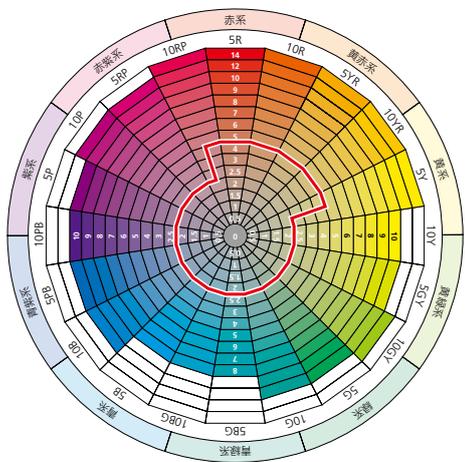
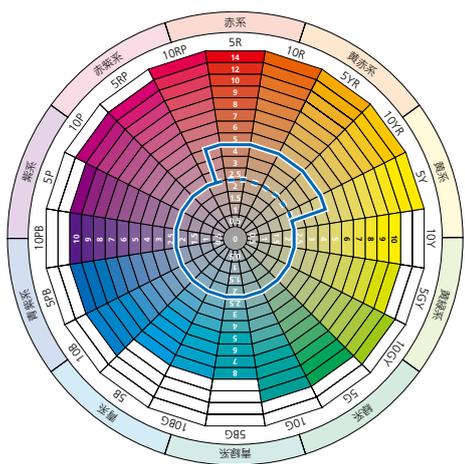
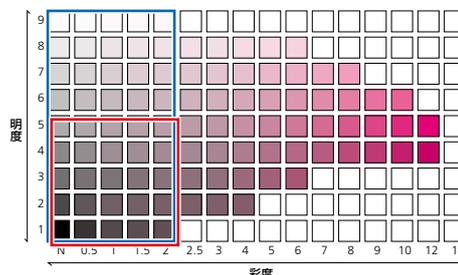
P(紫)系の色相



G(緑)系の色相



RP(赤紫)系の色相



凡例

- 建築物の外壁・工作物の基調色の使用可能範囲
- 建築物の屋根の基調色の使用可能範囲

制限範囲内の色彩例—外壁 (記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)

N9.0 [N-90]	5YR8.5/0.5 [15-85A]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	5Y8.0/0.5 [25-80A]
N8.0 [N-80]	5YR7.0/2.0 [15-70D]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR6.5/1.5 [19-65C]	2.5Y8.0/2.0 [22-75D]	5Y7.0/1.0 [25-70B]
N7.0 [N-70]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5GY7.5/0.5 [35-75A]
N6.0 [N-60]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5BG8.0/0.5 [55-85A]



制限範囲内の色彩例—屋根 (記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)

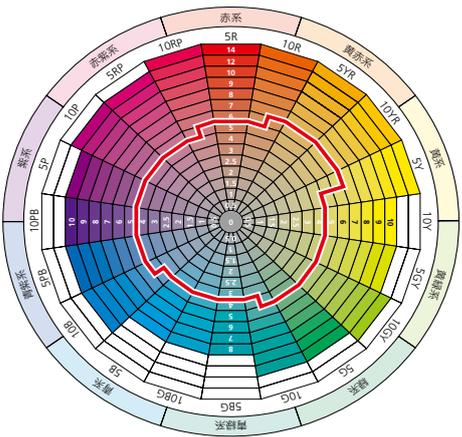
N4.0 [N-40]	10R3.0/2.0 [09-30D]	5YR4.0/2.0 [15-40D]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5GY3.0/2.0 [35-30D]
N2.0 [N-20]	10R2.0/1.0 [09-20B]	5YR2.0/1.0 [15-20B]	10YR3.0/1.0 [19-30B]	5Y3.0/1.0 [25-30B]	5BG3.0/1.0 [55-30B]

屋外広告物・日よけテントの色彩

制限の考え方

富士山・箱根外輪山、丹沢山地、曾我丘陵への良好な眺望景観を保全し、また、沿道の自然環境に配慮した通り景観を形成するために、屋外広告物の地色*1は、自然と調和する落ち着いた色のある色彩を用いるよう誘導を図ります。

*1 文字以外の部分をさします。面積全体の1/3以内の範囲内で用いる色彩には制限がありません。



対象部位	色相	明度	彩度
屋外広告物の地色 日よけテント	0.1R~10R	制限なし	5以下とする
	0.1YR~5Y	制限なし	6以下とする
	5.1Y~10G、 0.1PB~10RP	制限なし	4以下とする
	0.1BG~10B	制限なし	3以下とする

*カラーの写真や絵画等の部分は、色彩基準に適合しない部分とみなします。

*※和風の意匠によるのれん、日よけ幕については、1色に限り上記範囲外の色彩を用いることができます。

屋外広告物の色彩デザイン提案…自然と調和する落ち着いた色のある広告景観をめざして

Odawara-Oi

× 原案
地色に高彩度色を用いており、丹沢山地などへの眺望景観の中で突出した存在となっています。屋外広告物も、周囲の自然と調和する落ち着いた色のあるデザインとなるようにしましょう。

Odawara-Oi

◎ 中彩度色を活かした表現
原色ではなく中彩度色を用いると草木染めや藍染めなど伝統的な色彩表現と共通性が生まれます。

Odawara-Oi

◎ モノクローム表現
白地に黒やこげ茶を用いると落ち着いた風格のある色彩表現になります。

Odawara-Oi

◎ 素材色を活かした表現
木材や石材などの自然素材を活かすと、通り景観を損なうことなく、存在感を強調した表現ができます。

Odawara-Oi

◎ 箱文字表現
盤面を設けるのではなく、外壁に直接文字を設置すると建物の外観に違和感なく調和します。

